



クラブテーマ ここに平和を

名古屋 名大ロータリークラブ Weekly Report

2012~2013年度 No. 45

例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 創立：昭和56年3月4日
 例会場：APΛ HOTEL 名古屋錦 中区錦三丁目15-30 (052) 953-5111
 事務局：名古屋市中区錦三丁目15-30 APΛ HOTEL 名古屋錦 560号室
 (052) 961-2399 (直通) (052) 953-5111 FAX (052) 961-2391
 E-mail: meihokrc@beach.ocn.ne.jp

会長：小關 敏光 幹事：古川 康司 会報委員長：近藤 朗 題字：遠藤 友彦

本日の例会(第1548回) 6/12(水)

◆臨時クラブ総会を行います。

クラブフォーラムを行います。

次回の例会(第1549回) 6/19(水)

◆夜間例会及びI.D.M.を行います。

(時間：午後5時30分～ 会場：アパホテル名古屋錦)

第1547回例会記録 6/5(水)晴

◆司会 尾関 正一君

◆斉唱 国歌・君が代/RS・奉仕の理想

出席報告

会員数	37名	前々回訂正	1545回例会
欠席会員数	6名	欠席会員	4名中
出席会員数	31名	MAKE UP	3名
出席率	83.78%	出席率訂正	97.14%

会長挨拶

会長 小關 敏光

みなさん、今日は。先週、この地域も「梅雨入り宣言」がなされました。梅雨時の雨を利用した戦術として、「水攻め」があります。今日は、

この戦法に関するお話をします。

天正10年(1582年)6月2日に、「本能寺の変」が起きますが、その頃、羽柴秀吉は「備中高松城」を攻撃する戦法として「水攻め」をしていました。

この「水攻め」は、黒田官兵衛の進言によって、「足守川」をせき止め、高松城を水没させるというもので、高さ7m、底辺の幅約21m、長さ3~4kmという巨大な堤防を、わずか12日間で作ったと言われています。この堤防により、周囲2kmが約30日間で湖となり、建物のほとんどが水没したとされています。そして、「本能寺の変」を知った秀吉は、速やかに毛利

側と停戦交渉をまとめて、6月6日にはいわゆる「中国大返し」を始めたことで有名です。

一方、この時、秀吉軍に参加していた「石田三成」も「水攻め」をしています。天正18年(1590年)3月、秀吉は、天下統一を図るべく「小田原攻め」を開始しました。そして、秀吉は、4月に入ると、石田三成に約1万9000名の別働隊の指揮を命じて、関東中部の北条側の諸城の攻撃をさせます。

三成は、まず上野国(群馬県)の「館林城」を攻撃して明け渡させた後、武蔵国の「忍城」(現在埼玉県行田市)の攻撃を開始しました。

ところで、「忍城」の城主「成田氏長」は、北条氏直の命により兵500を連れて小田原城に入城させられていました。「忍城」に残ったのは、城代家老「成田長親」をはじめ兵500でした。ところが、この城の周囲は堀で囲まれており、石田隊が攻撃しても、「正木丹波守利英」や「柴崎和泉守」「酒巻鞆負」等の猛将がいたため、なかなか落ちません。そこで、三成が採った策が「水攻め」でした。この時は、高さ約3・6m、幅11m、長さ28kmの堤防を約1週間で築き、荒川や利根川の水をせき止めました。しかし、6月14日に完成した堤防は、4日後の18日に決壊してしまい、この「水攻め」は失敗に終わりました。そして、その後も「忍城」は持ちこたえましたが、7月6日に小田原城が攻略されたことから、7月16日に「長親」は、ようやく、忍城を明け渡すに至りました。三成は、この「水攻め」の失敗により「戦下手」と言われるようになったとされています。

この「忍城の戦い」を小説にしたのが「和田竜」の「のぼうの城」です。第29回城戸賞を受賞するなどしてベストセラーとなりました。この「のぼうの城」は、2011年に「犬童一心」と「樋口真嗣」の共同監督で映画化されています。小説はよいのですが、映画の方は、まずまずの出来ですが、いま一つでした。



幹事報告

1. 次回例会(6/12)は臨時クラブ総会を行いますので、よろしくお願い致します。
2. 米山記念奨学会より会員の星川直志君並びに星川須美子様(星川直志君ご夫人様)へ感謝状が届いておりますので、後程会長よりお渡しして頂きます。
星川 直志君 : 米山功労者マルチプル(第5回)
星川須美子様 : 米山功労者マルチプル(第4回)
3. 今月は年度末になっております。各委員会で未請求の費用がありました場合は、ご連絡を早急をお願い致します。
4. 来る6月19日(水)、APAホテル名古屋錦にて行われます夜間例会及びI.D.M.の出欠票を同封致しましたので、6月12日(水)までにご提出下さい。



星川直志君並びに星川須美子様へ
米山功労者マルチプルの感謝状が贈られる

— ゆったり例会を開催 —



誕生日

6/15 加藤あつこさん 6/11 阿部 美男君ご夫人

ニコボックス

渡邊 泰彬君

市特別職報酬等審議会に出席してきました。

梅村美知容さん

昨日はローターアクト引き継ぎ会議、夜は俳句フォトの打ち上げに参加しました。

阿部 美男君

家内の誕生日を祝っていただいて。

【ゆったり例会です。ごゆっくりごくつろぎ下さい。】

小關 敏光君 岩田 満治君 古川 康司君 藤原 研一君
横井 尚啓君 北村紀子さん 尾關實津成君 遠藤 友彦君
横井 登君 星川 直志君 柴山 利彌君 加藤あつこさん
尾関 正一君 梶川 久雄君 香田 研二君 入江由希子さん
西脇 良一君 宇都木 寧君 石黒 勉君 杉浦 定文君
西脇 多吉君 伊藤 晋一君 松岡 三明君

忍城について

【概要】忍城(おしじょう)は、埼玉県行田市にあった城。江戸時代には忍藩の藩庁が置かれた。別名は忍の浮き城、亀城。埼玉県の旧跡に指定されている。関東七名城の一つ。忍城水攻めは日本三大水攻めの一つに数えられる。

【構造】湿地帯を利用した平城であった。元々沼地だったところに島が点在する地形だったが、沼を埋め立てず島に橋を渡す形で城を築いた。当初は櫓を立てずに本丸は空き地とし、二の丸に屋敷を作ってそこを住まいとしていた。そのため、攻めにくく守りやすい城であったとされる。

当時の沼の名残は、現在水城公園に見て取れる。

【江戸時代】

徳川家康の関東入部後は、家康の四男の松平忠吉が忍城に配置され、以後、忍藩 10 万石の政庁となった。1639 年(寛永 16 年)に老中・阿部忠秋が入ると城の拡張整備が行われ、往事の縄張りには 1702 年(元禄 15 年)頃に完成したと考えられている。

1823 年(文政 6 年)に阿部氏が白河に移り、桑名より松平忠堯(奥平松平氏)が入った。

忍城の城下町は、中山道の裏街道宿場町としての機能や、付近を流れる利根川の水運を利用した物流路としての機能を兼ね備えて繁栄する。また江戸時代後期からは、足袋の産地として名をはせるようになる。

【明治時代から昭和 10 年代】

廃藩置県に伴い「忍県」の県庁が二の丸に置かれたが、その後廃城となって城内の建造物はほとんどが撤去され、城跡は公園(成田公園、後に忍公園)として整備された。

【戦後】

忍公園が拡張され、1949 年(昭和 24 年)10 月には本丸跡に行田部として「忍城鳥瞰図」や文献などをもとに鉄筋コンクリート構造によって外観復興されている。ただし位置や規模は史実とは異なり、内部は展望室や行田の歴史を写真や資料で紹介する展示室として利用されている。また、周囲には土塁の一部が残存している。